

佳作

## パパへの金メダル

千葉県  
野田市立宮崎小学校二年

長妻 愛美

わたしのパパは力もちです。かた手で、わたしのことをもち上げてくれます。おもいにもつも、へい気でもち上げられます。うんどう会のつなひきにパパが出ると、いつもパパのチームが勝ちます。

わたしは、パパにかた車してもらうのが大すきです。わたしが「パパ、かた車してよ」とおねがいすると、ちょっとこまったかおをしてからにこにこわらって「いいよ」と言います。そしてわたしがかたにのると、ちよつといたそうなかおをします。

パパの左のかたには大きなきずがあります。「十センチくらいあるかな。高校生の時に、大きな手じゆつをしたんだよ。」という話を聞いたことがあります。

そして、この前、そのきずのひみつをおしえてもらいました。わたしの家のちかくの中学校でやっているレスリング教室でパパはたまにコーチをしています。二年生になって、わたしも何どかパパといっしょにいったことがあります。

「レスリングは、かつかまけるか、どっちかなんだ。力と、わざと、じぶんの体のコントロールがたいせつなんだよ」とおしえてもらいました。

パパは、中学生のときからレスリングをやっていて、ちばけんで何かいもうしょうして全国大会に出ています。で

も、高校生の時、しあいでかたをこわして、ほねがぼろぼろになってしまったそうです。でも、どうしても日本一になりたくて、先生やコーチからとめられたけど、むりして全国大会に出たそうです。パパは、かたがいたかったのでゆうしようできませんでした。ぎんメダルだったそうです。そして、そのあと、大きな手じゆつをして、レスリングをやめることになつてしまいました。

わたしは、この話を聞いて「パパはすごいな」と思いました。そして、どんなことでもさいごまであきらめずにがんばることが大せつだと思いました。

わたしが、うんどう会の五十メートルそうで、はしる時、とても大きな声でパパはおうえんしてくれれます。

「あいま、さいごまで気をぬくなよ。ゴールまで、つぱしれ。」

と、大きな声すぎて、わたしは、はずかしくかんじていました。大きな声のパパ。おこるとこわいパパ。力もちのパパ。しごともうんどうも、いつもいっしょうけんめいのパパ。おさけをのんでよっぱらうとすぐねちやうパパ。いろいろなことをおしえてくれるパパ。

パパは日本一のパパだよ。ピカピカの金色のおりがみで、「ありがと」の金メダルをつくつて、プレゼントしました。